

\* 第4回 専門委員会で改訂(青字)

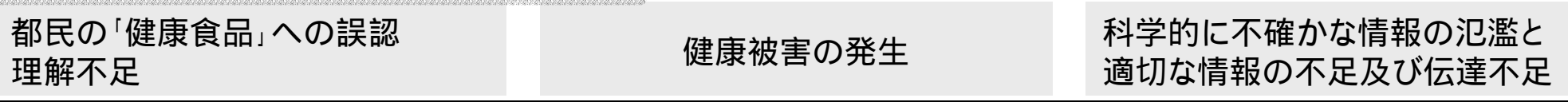
## 「健康食品」について検討することとなった経緯

東京都食品安全情報評価委員会(以下「評価委員会」)においては、これまで食品の安全性に関する個別のリスク情報について検討を行ってきたが、「健康食品」については、個別の情報に対応していくだけでは問題は解決しないという現状が浮かび上がり、平成16年8月26日の評価委員会において、「健康食品」の情報を総合的に評価検討を行うことが必要と判断された。

## 専門委員会で検討の対象とする「健康食品」の範囲

健康の保持増進に資する食品として販売・利用される食品(普通の食品の形態をしているものや、カプセル、タブレット状のもの等で、保健機能食品を含む)のうち、消費者が自らの判断により利用するもの。

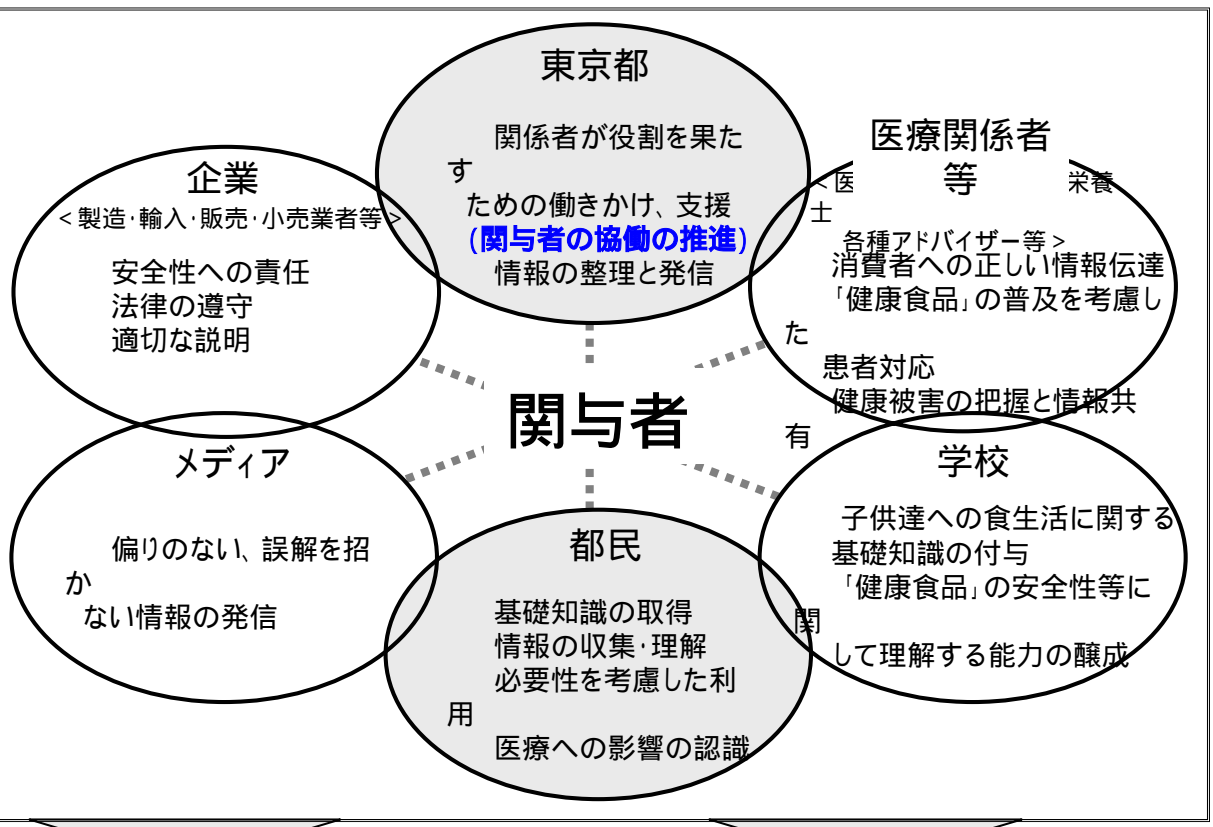
## 「健康食品」に関して問題となっている現状



## 検討の目的

都民が「健康食品」を安全に利用できる環境を整備するために、「健康食品」に関わるすべての者(関与者)は、右図に示すような役割と責任を果たさなければならない。

本委員会は、都がそれぞれの関与者と協働し、施策として取り組むべき具体的な事項について検討する。



## 目的達成のための目標

### 都民の認識の向上

- 正しい理解の促進
- 1 リスクコミュニケーションの実施方法
  - 2 「健康食品」に関する都民へのメッセージの検討
    - ・「健康食品」の役割や安全性に対する理解の推進
    - ・「健康食品」の利用方法について

### 製品やその使用上の安全確保

- 健康被害情報のより確実な把握と情報の共有
- 1 健康被害情報を共有する仕組みの必要性
  - 2 医療関係者等の役割として求める事項の整理と都の役割
- 「健康食品」の安全の向上と、消費者の安全な使用のサポート
- 1 「健康食品」取扱い事業者へのアドバイスの検討
  - 2 医療関係者等の役割として求める事項の整理と都の役割

### 適切な情報の提供

- 情報の適正化
- 1 企業やメディア等の健康情報発信者に求める責任の明確化
- 情報伝達チャンネルの構築
- 1 都民に正しい情報を伝えるために、医療関係者等の役割として求める事項の整理と都の役割
- 適切な情報選択(製品選択)のサポート
- 1 「健康食品」の利用に関するアドバイスの作成
  - 有用な情報源の活用方法
  - 情報を元に利用価値を判断する目安 など

検討事項

検討の基礎とする調査情報収集

- 都民の認識状況に関する情報整理
- 1 制度の理解
  - 2 利用の目的
- 利用の実態に関する情報整理
- 1 利用状況とその必要性
- 都の普及啓発の状況に関する整理
- 「健康食品」の制度及び考え方の整理
- 1 食品及び「健康食品」の役割と安全性
  - 2 制度
  - 3 有用性・必要性

- 健康被害に関する調査と情報収集
- 1 過去の健康被害発生の要因と背景
  - 2 健康被害情報の把握と対応状況
  - 3 都民の側のリスク認識
- 安全対策の実態に関する情報収集と整理
- 1 使用するうえで懸念されるリスク要素
  - 2 関係者(行政、事業者、関連団体等)の実施している安全対策

- 既存の有用情報源に関する情報収集
- 1 情報源及びその内容の把握
- 情報の活用状況に関する調査と情報整理
- 1 都民の情報源(伝わっている情報)
  - 2 医療関係者等の知識・情報源と消費者への説明
- 誤解を招きやすい表示・広告・「情報」に関する調査と情報整理
- 1 表示・広告
  - 2 メディアの情報

## 都への報告(提言)

## 報告を受けての都の対応